

## なんさん通り商店会 会員各位

平素は商店会活動にご協力賜り誠にありがとうございます。

先日、11月8日（火）午前0時、なんさん通りは歴史的な日時を迎えました。なんば広場の前身は確か55年くらい前の昭和40年（1967年）くらいまでは市電の停留所があり日本橋3丁目～なんさん通りを通り～難波駅前～湊町間を市電が走行していました。その後市電が急速に廃止されたのに伴い大阪市バスのターミナルとタクシープールが誕生しました。そしてそれから形は少しずつ変わりましたが、交通体系は大きく変わらず現在まで続きました。そう言った意味ではなんば駅周辺の交通体系を大きく変えるのが今回のなんば広場でありませぬ。そういう意味ではこの11月8日はなんば周辺にとっては本当に歴史的な一日となると思います。

話は変わりますが、このところめっきりインバウンドの観光客が戻りつつあるというのを実感しています。新型コロナ感染症拡大以前のような隣国中国の観光客があふれているということにはなっていないませんが、大阪には台湾、韓国、シンガポール、その他東南アジア諸国からのインバウンドが急速に戻ってきている感があります。先々月から欧米系の観光客が増えているとおもっていたのですが今月は特に東南アジア系も多くみられるようになってまいりました。やはり『円安』が大きな追い風になっているようです。

元来日本のホテル（宿泊料全体）は外国（特に欧米）に比して比較的安価だと言われているところに円安が加わり日本への旅行は今がチャンスとの喧伝がいろいろな国でされているようです。ただ残念ながら一番来日が望める中国がゼロコロナ政策を続けているようですが、人々の声や行動に少しずつ政府が押されているようですので、いずれ遠くないうちに中国でも海外渡航が緩和されて来るでしょう。なんとか大阪万博までには中国の海外渡航制限が無くなって欲しいものです。

なんさん通信 193号をお届けいたします。

令和4年11月30日

なんさん通り商店会  
会長 木村 次郎

『なんさん南北通りへの御堂筋  
 からの車の進入がとまりました』  
**11月8日午前0時より！**

なんば駅周辺における空間再編推進事業と名付けられていますが目

的は道路空間再編による歩行者空間の拡充です。なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へ再編し、世界を惹きつける観光拠点として上質で居心地の良い空間の創出を図ることが大きな目的です。



上 植え込  
 み・盛り土  
 が撤去され  
 フラットに  
 なったなん  
 ば広場

思い起こせば今から15年前の平成19年の秋に高島屋大阪店の東館新築計画に合わせて『なんさん通り商店会活性化プラン』を策定しよう：という発案が4代前の会長の岡島会長により提案されました。そして現会長の木村氏が『なんさん通り商店会の美化活性化委員長』を務めて頂き大阪市に補助金によるコンサル派遣を要請し、1年間をかけて周辺エリア調査、来街者・会員へのアンケート調査、交通量調査、なんさん通り商店会の市場調査を綿密に行い、また役員による毎週の議論を積み重ねて『なんさん通り活性化プラン案』が出来上がりました。そしてその中でハード整備の目玉として浮かび上がったのが、『駅前広場構想となんさん南北通りの歩行者天国化と東西通りの東行き一方通行案』でした。当時、戎橋筋商店街振興組合の4代前の理事長の境理事長も同様の構想をお持ちでしたのでとりあえず両商店会及び両商店会会員の企業さんに呼び掛けて『南海なんば駅前広場環境整備協議会』

を設立しこの計画のもたらすメリット・デメリットを調査、議論を行い、いろいろなる人々から情報を得て勉強会を行いました。しかしその構想は当然ミナミから日本橋エリアの広範囲に大きな影響を及ぼす事や、このような大阪府・大阪市レベルの大事業は二商店街（会）だけでは出来ようもなく、丁度当時設立された『ミナミまち育てネット』の応援を得てなんさん通りや戎橋筋に繋がる各商店会や自治会にまで広く協議会への協力を呼び掛けることとなりました。そして平成23年に『なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会』を23団体で改めて結成し、「ハートビートプラン」の泉代表をコンサルタントに招聘して本格的に交通の問題や日本各地の先進事例の見学、学識経験者を招聘してのシンポジウム、公共空間活用アイデア募集等を実施実行して、平成27年に『なんば駅周辺まちづくり構想具現化案』をまとめ、大阪市長へ要望書を提出。同年には学識経験者や大阪商工会議所を含めた

官民協働の検討会『なんば駅前空間利用検討会』が立ち上がりました。そして平成28年11月ほぼ我々民間の手による第一回目の社会実験（3日間）が行なわれました。そしてその成功を基に、平成29年3月に『なんば駅周辺の道路空間再編に係る基本計画』が官民協働で取りまとめられました。

しかしその後、交通管理者である大阪府警より歩道乗り上げ事故多発傾向を考慮した結果、広場からなんさん南北通りの一方通行化の見直しが指示され再度計画の練り直しが行われ、地元地権者同意や交通課題の再検討、意見調整が行われ、また新型コロナウイルスの感染拡大もようやく令和3年11月に第2回目の社会実験（10日間）が実施されました。そして大阪市によるパブリックコメントが実施され令和4年9月末に着工となりました。2023年10月～11月に広場部分が完成2025年の万博開場前までになんさん南北通りの完成を目指し、

工事が推し進められていきます。

今後11月中旬より約1カ月にわたり綿密な交通量調査を再度行い、特になんさん東西通り周辺の交通問題に焦点をあてて2月～3月頃にその結果を東西部会を開催して会員の皆様と東西通りの方向性を検討してゆきたいと考えております。

## ◇11月10日（木）

### 大阪府 吉村知事を迎えて起工式執り行われる！

前段の記事に関連して11月10日（木）午前11時より『なんば広場』に於いて起工式Ⅱ工事安全祈願祭が執り行われました。

地元からなんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会の会員26団体の代表の皆様を始め大阪市の開発調整局・大阪市建設局関係各部署の御代表様、また地元の大阪市会議員・大阪府議会議員の皆様、なんば周辺のまちづくり団体の御代表様、これまでご協力賜りました大阪

商工会議所様や学識経験者様等の皆様等約70名の皆様がお忙しい中お集まりいただきました。

そしてこの『なんば広場』を大阪市長時代より積極的に応援頂きました大阪府の吉村知事も駆けつけて頂きお祝いの言葉を頂戴いたしました。





## ミナミクリーンアップ 『ゆめまちロード』

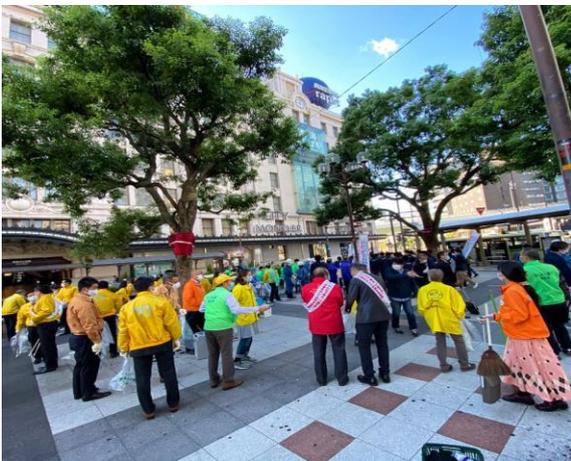
### OSAKA

11月10日(木)開催さる

11月10日は昨日からの暖かく晴天のお天気が続いた絶好のお掃除

日和の中で、『2021秋のゆめまちロードOSAKAなんば』が開催されました。

今回も戎橋筋商店街振興組合・なんば南海通り商店会・ミナミ千日前商店会・難波駅前町会商店会・難波センター街商店街振興組合・なんばCITY会・南海電気鉄道(株)・(株)高島屋・(株)マルイ・スイスホテル南海大阪・ファミリーマート(株)・ミナミまち育てネットワーク・大阪商工会議所(中央支部・西支部)・南警察署・浪速警察署・大阪市(中央区役所、浪速区役所、建設局、環境局)・(株)アーキエズム・大林組(各敬称略)そしてなんさん通り商店会の18団体の皆様の方、約100名の皆様にご参加いただき、南海難波周辺道路及び参加各商店街の徹底清掃、不法看板、不法駐輪等の撤去及び啓発そしてタバコのポイ捨て禁止等の啓発に取り組みました。



今年度は昨年、一昨年と新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となっておりましたミナミまち育てネットワーク主催のミナミ一斉大清掃(ベప్పんプロジェクト)が先月3年ぶりに復活をし、そして、今回の秋の『ゆめまちロード』も開催される等久々の大規模な清掃活動を続けておこなうことができました。ミナミを美しくということができた。ミナミ

関わって頂いていることに感動を覚えました。特にミナミまち育てネットワークの皆様には非常に多数のご参加を頂き、久々のなんさん通り商店街の清掃となり終わった後の美しさにも感動してしまいました。

今年も街を磨きあげ、不法駐輪のない、そして違法なはみ出し陳列やはみ出し看板が無く、多くの来街者に心地良い空間を提供し、『なんば』は**安全で安心で美しい街**ということを世界へ向けて発信していきたいと思えます。

## ◇第14回大阪あきない グランプリ浪速区商店会

### 優秀店舗表彰式開催

11月22日（火）午後3時より浪速区役所にて浪速区商店会連盟主催で第14回大阪あきないグランプリ浪速区商店会優秀店舗表彰式が執り行われました。

浪速区の6商店会より優秀店舗が

推薦され浪速区商店会連盟と浪速区役所がこれを審議し優秀店舗として表彰するものです。今回は8店舗が優秀賞を獲得し、幡多浪速区長より優秀楯が、木村商店会連盟会長より副賞が授与されました。

当なんさん通り商店会からは、『くそヤジ最後のひとふりなんば店』さんと『MIMARU大阪難波STATION』さんが優秀店舗表彰を受けられました。

今後大阪市商店会連盟では各区より推薦のあった優秀店舗の中から、さらに大阪市優秀店舗を11月30日に選定され（大阪市のプレスに発表）後、翌年（令和5年）1月12日（木）に行われる全市商店会長新年懇親会の席上にてグランプリ・準グランプリ・特別賞の発表が行われ、同時に表彰式も行われる予定となっております。浪速区から推薦をうけているこの2店様と中央区商店会連合会から推薦を受けているBR AVEビルさん・焼肉ライクさんがエントリーされています。



## ◇11月12日、13日

### 道頓堀リバーフェスタ！

### 『なんば広場で初開催』

続いてこの『なんば広場』本格的に囲い込み、工事が開始される直前の間隙をぬって11月12日・13

日の両日に一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会（千田忠司理事長）主催、大阪市商店会総連盟。産経新聞大阪本社・なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会の共催で行われました。

『なんば広場』にとつては平成28年11月以来の広場イベントとなり前回はマルイさん前の道路は車両が通行する中で行われましたが、今回は広場を全面的に使用し、前回の1.5倍のスペースを使つて行われました。過去道頓堀リバーフェスティバルは道頓堀の川辺の遊歩道と湊町リバープレイスが主会場でしたが、今年は『なんば広場』が加わるとしたらイベントがどの様に変化するのか？また人の流れは過去のフェスタと比べてどうなるのか？を検証する絶好の機会となりました。13日（日）は雨模様となりましたが、12日（土）を見るかぎり『なんば広場』の持つポテンシャルは他の会場と比べての圧倒的に高い様に思われました。

『街の中心を広場に』は世界のトレンドという意味が良く理解できるイベントであったと思います。

ただ残念なのは、なんさん南北通りにもう少し人が回遊して欲しかったように思います。まあミナミが中心のイベントでのかたがないことと思われませんが、なんさん南北通りの使い方にもう少し工夫がいるようです。

しかしここでも吉村知事が挨拶され『ミナミは大阪の顔です。ミナミが元気になるつちゆうことは大阪が元気になる。素晴らしい大阪の魅力をここからどんどん高めていきましょう！』まさにそのとおりです。あと10年もすれば、浪速筋線が開通します。その時になんば、日本橋、ミナミ、新世界に魅力がないと観光客（特にインバウンド）はすどおりしてしまします。インバウンドだけでなく関東方面始め北海道・東北・九州・四国からも・なんばへ日本橋へ・新世界へ・ミナミへと人々を誘う街をつくるのが、大資本が創るま



ち（東京化したヒルズのまち）『キタ』に負けない。そしてそれが、いずれ東京に負けない大阪の力になると思います。

でも『なんば広場』の持つポテンシャルとなんさん通りがしっかりと一体化することにより『なんさん通り』がインターナショナルブランド通りとなりたいと思うのも夢では無くなってきました。



## 12月度の行事予定

☆ かたづけたい

日時 12月6日（10：00～）

集合場所タイトーステーション前

### なんさん通り商店会事務局

大阪市中央区難波千日前5-19

河原センタービル2F

TEL・fax 06-6648-8372

携帯電話 090-5660-3645

メール [nansan1950@nansan.com](mailto:nansan1950@nansan.com)